

**令和7年度 日本大学経済学部 総合型選抜
資格取得者を対象とした論文による選考 第一次選考 小論文A課題**

日本大学経済学部

以下の文章を読み、課題について募集要項（本学部ホームページよりダウンロードしてください）に含まれる指定用紙を使用し、課題①と課題②を踏まえた上で、合計して1,350字以上1,500字以内で小論文を書きなさい。ただし、図表や参考文献リストなどは文字数には含みません。

中央教育審議会は、2020年代を通じて実現を目指す日本型学校教育のあり方を、「教師が創造的で魅力ある仕事であることが再認識され、教師を目指そうとする者が増加し、教師自身も志気を高め、誇りを持って働くことが出来ること」としています。しかし2021年には、教師の配当定数を満たさない公立小・中学校の数が全国で1,300を超えるなど、いわゆる教師不足が問題となりました。また2023年に実施された文部科学省の調査では、教員採用試験の受験者数は、公立小・中学校それぞれにおいて過去20年間で最も少なくなっており、さらに受験者数を採用者数で割った競争率についても過去20年間で最も低い値が報告されています。

[課題]

- ① 公立小・中学校において、教師の配当定数を満たさない学校が増えたり、採用試験の受験者数や競争率が減少することにより、どのような問題が起こるのでしょうか。
- ② 公立小・中学校の採用試験受験者数と競争率はなぜ減少しているのか、その背景と考えられる要因について、教員の働き方の実態を踏まえながら論述してください。論述にあたっては次の3つのキーワード*について触れること。

***キーワード**

1. 給特法（正式名称は「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」）
2. 勤務時間政令（正式名称は「公立の義務教育諸学校等の教育職員を正規の勤務時間を超えて勤務させる場合等の基準を定める政令」）
3. 長時間労働

[論述のヒント]

自分で資料を収集する他、以下に示す参考資料、さらに関連した雑誌記事や官公庁による白書等、複数の資料をあわせて読むことを薦めます。

[参考資料]

1. 内田良・広田照幸・高橋哲・嶋崎量・斉藤ひでみ(2020)『迷走する教員の働き方改革 変形労働時間制を考える』岩波書店
2. 内田良・斉藤ひでみ・嶋崎量・福嶋尚子(2021)『#教師のバトン とはなんだったのか 教師の発信と学校の未来』岩波書店
3. 内田良・小室淑恵・田川拓磨・西村祐二(2023)『先生がいなくなる』PHP 研究所
4. 文部科学省（2022）「教師不足」に関する実態調査
(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/mext_00003.html：閲覧日 2024年5月1日)

<利用した参考文献リストなどの情報は添付>

- ・インターネットや書籍などを用いた場合は、URL や文献情報（著者名、書名、発行所、発行年、ページ数）を明記し、利用したデータの出所も明らかにしてください。
- ・URL・文献・データ等の情報、ならびに図表は、別紙（A4 版用紙両面 5 枚以内）にまとめて添付してください。

<利用した参考文献などの記載例>

- ・インターネットの場合：日本大学経済学部（<https://www.eco.nihon-u.ac.jp>：閲覧日 2024年5月1日）
- ・書籍の場合：日大ケイ子『詳説 日大経済』神田三崎町出版、2020年、7-13 ページ

- ・新聞の場合：『日大経済新聞』朝刊，2021年10月15日2面
- ・データの場合：総務省「労働力調査」，2021年